

インドはお祭りで大騒ぎ！

シャイニング・インド（マクロ関連）～インド個人消費の強さを占う「ディワリ」商戦に要注目～

▶ 盛大なインドのお祭り、ディワリ

インド3大祭典の1つ**ディワリ**（ヒンドゥー教新年祭、Diwali）が、10月から11月の5日間にわたって開催されました。このディワリ開始日はインドでは祝祭日となり、インド全体が活気に満ちます。というのも、インド人口の約8割を占めるヒンドゥー教徒にとって、ディワリは新年を祝う大事なお祭りであり、悪魔を打ち倒した（闇（悪）に光（善）が勝利した）という神話に基づく行事でもあるため、花火、爆竹、そしてディヤ（右図のようなオイル・ランプ）といった「光」で盛大にお祝いします。ディワリが「**光の祭典**」とも称される所以です。



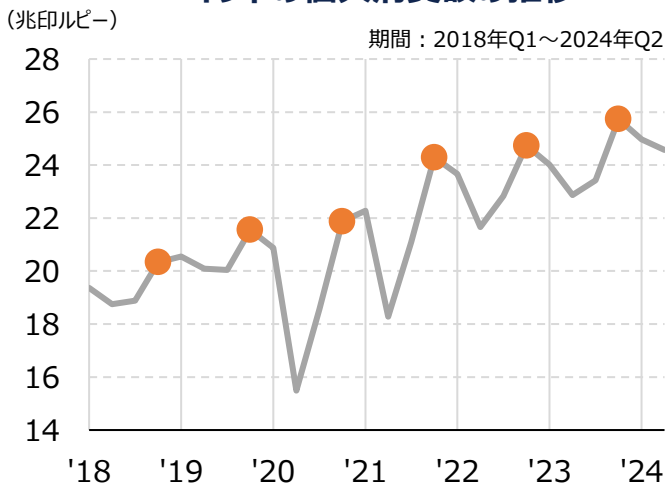
▶ インド個人消費の強さを占う「ディワリ」商戦

ディワリの時期に買い物をするのは縁起が良いとされており、宝飾品や家電・車などの単価が高い品物の販売額も増加する傾向にあります。

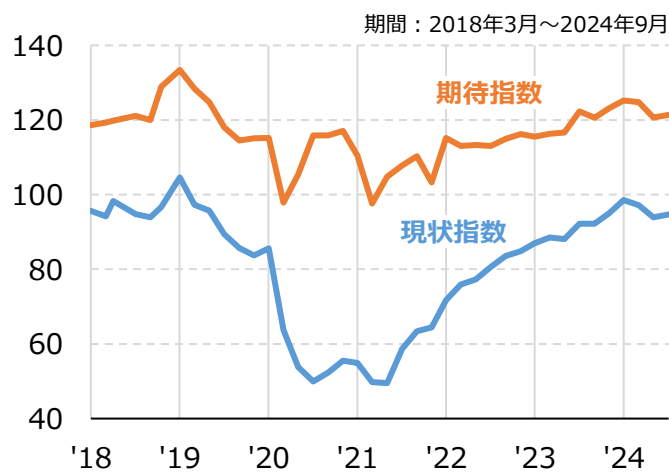
2018年から2023年までのインド個人消費額の年平均成長率は4.8%ですが、ディワリ商戦を伴う10-12月期（左下図の●部分）は、例年、個人消費が大きく伸びていることが分かります。

個人消費はインドの経済成長ドライバーの1つですが、今後の動向も注視していきたいところです。購買意欲にも直結する消費者信頼感指数の回復傾向が続いており、期待指数から「将来はもっと良くなる」という期待感を読み取ることができ、今年のディワリ商戦結果にも期待したいところです。

インドの個人消費額の推移



インドの消費者信頼感指数*



*指数は0～200。100以上で楽観的を示す。家計に関する現在の認識と、1年後の予想を調査し、指数化したもの。

▶ 突然変わるインドの祝祭日は、日本にも影響

ご参考までですが、他の単一国ファンドと同様に、インドの祝祭日のスケジュールに伴いインド関連ファンドも事前に申込休業日を設定しています。ところが、インドの祝祭日そのものが直前に変更されることもしばしば。急な日程変更で、日本のみならず世界の各金融機関は確認・システムの再設定を余儀なくされます。これは地域・宗教・文化などインドの多様性を反映しているため、突然インドがお休みを発表しても、インドのお国柄として受け止めてください。

出所：インド準備銀行のデータを基にパインブリッジ・インベストメンツ作成。画像はイメージです。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会